

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 株式会社ロブテックス 上場取引所 東
コード番号 5969 URL <https://www.lobtex.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 地引 俊為
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理部長 (氏名) 森下 幸治 TEL 072-980-1110
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,369	△2.5	△17	—	△12	—	△23	—
2025年3月期第1四半期	1,404	4.6	73	121.0	80	82.2	42	76.7

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △11百万円 (—) 2025年3月期第1四半期 62百万円 (9.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	△12.50	—
2025年3月期第1四半期	22.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	8,484	4,774	56.3
2025年3月期	8,611	4,841	56.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 4,774百万円 2025年3月期 4,841百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		0.00	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,810	1.8	220	6.9	220	△1.2	130	68.2	69.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	2,000,000株	2025年3月期	2,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	132,600株	2025年3月期	132,600株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	1,867,400株	2025年3月期1Q	1,867,408株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、雇用や所得環境の改善が見られた一方で、資材価格高騰等による物価の上昇、ウクライナ情勢の長期化・中東情勢の緊迫化に加え、米国による関税政策によって、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループでは、経営ビジョン「モノづくりのプロにゆだね、モノづくりのゆたさを育む」、経営スローガン「私たちは工具を通じ、あらゆるモノづくりの要求に応え、つくるゆたさを伝え広げる事で社会に貢献します」の発信と浸透を更に進め、経営課題である「業務の整流化を徹底し、利益体質の強化を図る」を追求し、経営目標達成に向け努力してまいりました。

そして、その経営ビジョンを推し進めるにあたり、経営課題の解決に向け、新規開発事業部、ハンドツール事業部、ファスニング事業部の3事業部において事業収支改善を徹底することで「業務の整流化」と「利益体質の強化」を図りました。

新規開発事業部では、新規商品の開発、新規調達先の開拓を加速、充実を図りました。

ハンドツール事業部では、開発から生産までの商品化プロセスを加速させ、安定的且つ効率的供給体制を構築し、特に生産拠点であるグループ会社、鳥取ロブスターツール株式会社との連携を図ることにより収益力の強化を行いました。

ファスニング事業部は、需要が増加している接合作業の自動化装置など、ファスニング分野のさらなる伸長を図るため、技術開発、営業、アフターサービス部門が一体となり、お客様の要求に“きめ細やかに”そして、市場ニーズを的確に捉えるべく製販一体となって対応しました。また、グループ会社でありファスナー専門商社の株式会社ロブテックスファスニングシステムと連携の下、営業力の強化を図り、同社の管理、品質、技術部門を当社と連携することで販路拡大に特化・集中できる体制としました。その結果、省人化を目的としたリベッティングの自動機やシステム物件の引き合いが、増加傾向にあり、着実に受注に結びついております。

しかしながら、売上高は前年同期比2.5%減の1,369百万円（前年同期1,404百万円）となり、利益面では17百万円の営業損失（同73百万円の営業利益）、12百万円の経常損失（同80百万円の経常利益）、23百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失（同42百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①金属製品事業

ハンドツール事業では、国内売上においては、電設工具が好調でしたが、海外売上において、特に韓国における市況の低迷が影響し、電設工具及びプライヤ類の販売が低調に推移しました。

一方、ファスニング事業においては、国内・海外ともに省人化を目的としたリベッティングの自動機やシステム物件の引き合いが、増加傾向にあり、着実に受注に結びついております。しかしながら、前年6月に連結子会社である株式会社ロブテックスファスニングシステムを100%子会社化したことに伴い、一部商品の販売をグループ会社外へ移管したことが影響し、売上高が減少しました。

その結果、金属製品事業の合計売上高は前年同期比2.6%減の1,302百万円（前年同期1,337百万円）となり、セグメント利益については、減収影響に加え、新規アイテムの生産・発売と在庫評価に関する費用発生に伴う売上原価率の上昇もあって、50百万円のセグメント損失（同38百万円のセグメント利益）となりました。

②レジャー事業

ゴルフ練習場における売上高は、サービス向上や集客施策を実施してまいりました結果、一人当たりの売上高は微減したものの、来場者数は微増し、前年同期比0.5%増の67百万円（前年同期67百万円）となりました。セグメント利益については、経費節減に努めましたものの、練習用ボールの一部入れ替え等による運営維持費用の発生があり、同6.5%減の32百万円（同35百万円）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は8,484百万円となり、前連結会計年度末に比べ126百万円減少しました。

（資産）

流動資産は前連結会計年度末比153百万円減の5,604百万円となりました。これは主に現金及び預金や受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。

固定資産は同26百万円増の2,880百万円となりました。これは主に減価償却の計上による減少がある一方で、設備投資の実施や投資有価証券の時価上昇による増加があったことによるものです。

（負債）

流動負債は前連結会計年度末比84百万円増の2,336百万円となりました。これは主に未払法人税等が減少する一方で、未払費用や買掛金が増加したことによるものです。

固定負債は同143百万円減の1,374百万円となりました。これは主に長期借入金が減少したことによるものです。

（純資産）

純資産は前連結会計年度末比67百万円減の4,774百万円となりました。これは主に投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加がある一方で、配当支出による減少や親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による減少があったことによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月9日に発表しました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,287,897	2,183,496
受取手形及び売掛金	934,697	897,638
電子記録債権	227,099	202,719
商品及び製品	1,443,285	1,460,547
仕掛品	435,152	405,217
原材料及び貯蔵品	330,447	349,518
その他	98,965	104,942
流動資産合計	5,757,545	5,604,079
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	721,747	709,351
土地	668,226	668,226
その他（純額）	558,568	567,492
有形固定資産合計	1,948,542	1,945,071
無形固定資産	30,261	28,232
投資その他の資産	875,081	907,339
固定資産合計	2,853,885	2,880,643
資産合計	8,611,431	8,484,722

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	232,055	289,711
短期借入金	1,515,870	1,502,440
未払法人税等	57,968	31,443
その他	445,820	512,974
流動負債合計	2,251,715	2,336,569
固定負債		
長期借入金	1,333,386	1,170,276
退職給付に係る負債	87,968	87,257
その他	96,374	116,589
固定負債合計	1,517,728	1,374,122
負債合計	3,769,443	3,710,692
純資産の部		
株主資本		
資本金	960,000	960,000
資本剰余金	493,710	493,710
利益剰余金	3,279,500	3,200,138
自己株式	△164,534	△164,534
株主資本合計	4,568,676	4,489,314
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	273,310	284,715
その他の包括利益累計額合計	273,310	284,715
純資産合計	4,841,987	4,774,029
負債純資産合計	8,611,431	8,484,722

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
売上高	1,404,864	1,369,907
売上原価	938,946	991,906
売上総利益	465,917	378,001
販売費及び一般管理費	392,570	395,829
営業利益又は営業損失（△）	73,346	△17,828
営業外収益		
受取配当金	10,885	11,719
その他	2,972	3,325
営業外収益合計	13,858	15,044
営業外費用		
支払利息	6,829	8,354
その他	21	1,121
営業外費用合計	6,851	9,475
経常利益又は経常損失（△）	80,354	△12,258
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	80,354	△12,258
法人税等	35,643	11,081
四半期純利益又は四半期純損失（△）	44,711	△23,340
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,502	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	42,208	△23,340

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	44,711	△23,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,217	11,405
その他の包括利益合計	18,217	11,405
四半期包括利益	62,929	△11,935
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	61,843	△11,935
非支配株主に係る四半期包括利益	1,085	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	金属製品事業	レジャー事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,337,665	67,198	1,404,864	1,404,864
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,337,665	67,198	1,404,864	1,404,864
セグメント利益	38,218	35,128	73,346	73,346

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	金属製品事業	レジャー事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,302,370	67,537	1,369,907	1,369,907
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,302,370	67,537	1,369,907	1,369,907
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△50,674	32,846	△17,828	△17,828

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	54,663千円	55,086千円